

厚生労働省指定臨床研修病院年次報告等

- ・ 様式A-10
- ・ 様式A-10 別表
- ・ 様式A-10 別紙1～5

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」に基づき、以下のように公表します。

津軽保健生活協同組合
健生病院

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024年 4月 1日

都道府県知事 殿

病院名 津軽保健生活協同組合 健生病院
開設者 理事長 伊藤 真弘

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・ 項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・ 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー1ー

病院施設番号： 030772 臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合 健生病院

記入日：西暦 2024 年 4 月 1 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030772	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 津軽保健生活協同組合健生病院 基幹型病院群 番号 0307726
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ イズミヤ ハルカ 氏名(姓) (名) 泉谷 はる香	役職 医局医学生課 研修担当事務 (内線 7631) (直通電話 (0172) 55-7717) e-mail : aomin-kensyu@kensei-hp.com (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ ツルケンセイカクキョウトウカミアイ ケンセイヨウイン 津軽保健生活協同組合 健生病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型、協力型記入)	〒 036-8511 (青森 都・道・府・県) 弘前市大字扇町二丁目2番地2 電話：(0172) 55-7717 FAX：(0172) 55-7743 二次医療圏 の名称： 津軽地域保健医療圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) (基幹型、協力型記入)	フリガナ ツルケンセイカクキョウトウカミアイ 津軽保健生活協同組合		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型、協力型記入)	〒 036-8045 (青森 都・道・府・県) 弘前市大字野田二丁目2番地1 電話：(0172) 33-7515 FAX：(0172) 36-3231		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型、協力型記入)	フリガナ タケウチ 姓 竹内	カスヒト 名 一仁	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型、協力型記入)	https://www.kensei-hp.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー2ー

病院施設番号： 030772

臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合 健生病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 55 名、非常勤（常勤換算）： 2.0 名 計（常勤換算）： 57.0 名、医療法による医師の標準員数： 24.6 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2017年 10月 1日、告示番号：第 908 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有（ 205.05 ）m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 14796 件（うち診療時間外： 8780 件） 1日平均件数： 40.4 件（うち診療時間外： 24.0 件） 救急車取扱件数： 3237 件（うち診療時間外： 2093 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 3名、看護師及び准看護師： 2名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（ ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 282 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数の <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 13.0 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 67 件、異常分娩件数： 143 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 3回、今年度見込： 3回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数	前年度実績： 6 件、今年度見込： 6 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ①. 無（住宅手当： 50,000円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有（ 室） ①. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（ 47.511 ）m ²
	医学図書数	国内図書： 3133 冊、国外図書： 138 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 12327 種類、国外雑誌： 3442 種類
	図書室の利用可能時間	0：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（UpToDate、医学中央雑誌web版、クリニカルキー、医書.jp ） 利用可能時間（ 0：00 ～ 24：00 ）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 3 ー

病院施設番号： 030772 臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合 健生病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フガナ ミコ アサコ 氏名(姓) 三國 (名) 麻子 役職 主任補佐												
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)												
	診療録の保存期間	(文書: 20、電子媒体: 永) 年間保存												
	診療録の保存方法	1. 文書 2. 電子媒体 <u>その他</u> (具体的に: 文書・電子媒体)												
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	①. 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。												
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 (2) 名、兼任 (7) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 ・医療安全委員会の開催 ・委員会への各職場からの安全報告書の提出促進 ・報告を集計分析し、結果を職員に還元する ・対策を院所の基幹会議に提出する ・医療安全既定の管理・改定												
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等: フガナ クドウ 外トコ 氏名(姓) 工藤 (名) 聡子 役職 サポートセンター センター長 対応時間 (8:30 ~ 16:40) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 0. 無												
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容: 安全文化の醸成と定義を図る。システム全体を安全性が高く質の良いものにしていくために、組織的対策を講じ、医療安全の確保に努める。患者主体の医療と信頼される医療を提供する。これらを推進するために、医療安全管理者、感染管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医療放射線安全管理責任者の体制で行っている。												
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容: ・医療安全報告書の統計及び警鐘事例の共有 ・全国の医療安全に関するニュースの共有 ・院内医療安全ルールの検討、ニュースの発行 ・院内ラウンドにて評価・対策												
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2~4) 回 研修の主な内容: ・入職時医療安全研修 ・病院として医療安全学習会を年2回開催 ・CVC挿入のインストラクター制研修 ・委員会の活動報告と事例検討、分析法の学習と実践 等												
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: ・医局会、看護長会議、管理部会議への参加 ・インシデント報告書を基に事故関連部署への介入 ・院内医療安全学習会、研修の企画 ・情報の調査、分析、解決策立案、実践、評価をPDCAサイクルで実践													
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		修了: 9 名 中断: 名												
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	10	2	3	2 年	8	9	2
	前々年度	前年度	当該年度											
1 年	10	2	3											
2 年	8	9	2											

22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (282) 床 ÷ 10 = (28.2) 名
	患者数から算出	年間入院患者数 (6059) 人 ÷ 100 = (60.6) 名
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。	1. 精神保健福祉士 :	名 (常勤 : 名、非常勤 : 名)
	2. 作業療法士 :	名 (常勤 : 名、非常勤 : 名)
	3. 臨床心理技術者 :	名 (常勤 : 名、非常勤 : 名)
	9. その他の精神科技術職員 :	_____ 名 (常勤 : 名、非常勤 : 名)
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)	①. 有 (評価実施機関名 : NPO 法人卒後臨床研修評価機構(2021年3月12日)) 〇. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 ①. 有 〇. 無	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 4 ー

病院施設番号： 030772 臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合 健生病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1年次研修医 () 名 2年次研修医 () 名 男性 1年次研修医 () 名 2年次研修医 () 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (1. 有 ①. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分) 病児保育 (①. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 ①. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (①. 可 0. 不可)
	保育補助	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (①. 有 0. 無) その他の補助(具体的に: 院内保育所の設置はないが、医師の子に限りベビーシッターによる病児保育を院内にて行う仕組みがある)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (1. 有 ①. 無) 授乳スペース (1. 有 ①. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入(院外との連携した取組もあれば記入)	()
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 ①. 無 窓口の名称がある場合記入() 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入(生協本部総務部) 窓口の専任担当 ①. 有 (1 名) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： 津軽保健生活協同組合 健生病院初期医師臨床研修プログラム プログラム番号： 030772
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1年次： 10 名、2年次： 10 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ イズミヤ ハルカ 氏名(姓) (名) 泉谷 はる香 所属 役職 健生病院 医局医学生課 電話：(0172) 55 - 7717 F A X：(0172) 55— 7743 e-mail： aomin-kensyu@kensei-hp.com URL：http://aomin.jp/medico/junior/
	資料請求先	住所 〒 036-8511 (青森 都・道・府・県) 弘前市大字扇町二丁目2番地2 担当部門 担当者氏名 フリガナ サイトウ シュンタ 姓 齊藤 名 駿介 電話：(0172) 55 - 7717 F A X：(0172) 55— 7743

e-mail : kensei-igakusei@kensei-hp.com

URL : <http://aomin.jp/medico/junior/>

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー6ー

病院施設番号： _____

臨床研修病院の名称： _____

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に _____）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（①. する 〇. しない） 個人加入（1. 強制 ②. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：①. 可 〇. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：①. 有 〇. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（1. 有 ②. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ _____ 時 分 ~ _____ 時 分）
		病児保育（①. 有 〇. 無） 夜間保育（1. 有 ②. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（①. 可 〇. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（①. 有 〇. 無）
		その他の補助（具体的に： 院内保育所の設置はないが、医師の子に限りベビーシッターによる病児保育を院内にて行う仕組みがある）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（1. 有 ②. 無） 授乳スペース（1. 有 ②. 無）
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ _____ ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 ②. 無 窓口の名称がある場合記入（ _____ ） 窓口の専任担当 1. 有（ _____ 名） 〇. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ 生協本部総務部 _____ ） 窓口の専任担当 ①. 有（ 1 名） 〇. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	①. 有 〇. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。

- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種類ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別業にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別業にて記入すること。
- 17 「病床の種類ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- (1) 「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけること。また、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。また、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーター等の整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1) 「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2) 「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4) 「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(1)～(3)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5) 「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6) 「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
 - (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 33 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
 - (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあつては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
 - (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
 - (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
 - (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
 - (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
 - (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
 - (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称 (所在地道府県) : 津軽保健生活協同組合 健生病院 (青森県)

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設				研修プログラム		
所在地道府県	二次医療圏	名称	新規	所在地道府県	二次医療圏	名称	新規	所在地道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
青森県	津軽地域保健医療圏	津軽保健生活協同組合 健生病院 (病院施設番号: 030772)		青森県	津軽地域保健医療圏	津軽保健生活協同組合 藤代健生病院 (病院施設番号: 030811)		青森県	津軽地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 健生五所川原診療所 (病院施設番号: 032017)		津軽保健生活協同組合 健生病院初期医師臨床 研修プログラム	10
				青森県	青森地域保健医療圏	青森保健生活協同組合 あぶもり協立病院 (病院施設番号: 030812)		青森県	津軽地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 健生黒石診療所 (病院施設番号: 032018)			
				青森県	青森地域保健医療圏	青森保健生活協同組合 生協さくら病院 (病院施設番号: 070023)		青森県	青森地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 津軽病院 (病院施設番号: 032019)			
				岩手県	盛岡保健医療圏	盛岡保健生活協同組合 川久保病院 (病院施設番号: 096412)		青森県	青森地域保健医療圏		青森保健生活協同組合 中部クリニック (病院施設番号: 032021)			
				青森県	津軽地域保健医療圏	独立行政法人国立病院機構弘 前総合医療センター (病院施設番号: 030037)		青森県	八戸地域保健医療圏		八戸保健生活協同組合 八戸生協診療所 (病院施設番号: 032022)			
				青森県	津軽地域保健医療圏	弘前協栄センター・リハビ リテーションセンター (病院施設番号: 070033)		青森県	津軽地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 健生クリニック (病院施設番号: 032024)			
								青森県	青森地域保健医療圏		青森保健生活協同組合 協立クリニック (病院施設番号: 126826)			
								岩手県	盛岡保健医療圏		盛岡保健生活協同組合 さわやかクリニック (病院施設番号: 126827)			
											(病院施設番号:)			
											(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設(病院又は診療所に限る)が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

○川久保病院・さわやかクリニック

而機関とも北東北地方にあり健生病院と同一の医療団体連合会に加盟する医療機関であることから、臨床研修制度発足以前から相互に研修医の行き来があり、研修上の連携を保ち協同して医師養成をおこなってきた。所在地道府県および同一の二次医療圏を越えているが、研修プログラムおよび制度上に定められた研修目標を達成し、また当院にない科の研修の保証や連携の維持を継続するものである。2013～2014年度には川久保病院において内科分野を研修医がローテーションしており、選択研修においても選択されている。高齢者医療や地域における小規模病院の役割などについて主体的に考える研修がなされている。また、当院にない眼科領域の症例の確保も保証される。さわやかクリニックも地域医療分野で研修医がローテーションし、医療過疎地での診療のあり方や医療資源の有効活用など、地域医療における様々な課題に主体的に向き合うことができている。而機関ともプログラムの理念や目標を十分に満たす研修環境が保証される。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に記述すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設(今回の届出により削除しようとするものを含む。)の所在地道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在地道府県」、
「二次医療圏」、「名称」欄に記入(既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入)した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院(協力施設)となる場合は
「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院(協力施設)を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」
欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員(自医学科卒業生等マッチングによらないものを含む。)を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 (令和 5 年度開催回数 3 回)

病院施設番号: 030772 臨床研修病院の名称: 津軽保健生活協同組合 健生病院

氏名	所属	役職	備考
タケウチ カズヒト 竹内 一仁	健生病院	院長	研修管理委員長
サトウ シュウイチ 佐藤 衆一	健生病院	副院長	研修管理副委員長
キムラ ソウイチロウ 木村 宗一郎	健生病院	整形外科長	研修プログラム責任者
オガワ ヨシヒロ 小川 克弘			外部評価委員
イトウ シノブ 伊藤 しのぶ	居宅介護支援事業所ファルマ		外部評価委員
セキヤ オサム 関谷 修	藤代健生病院	院長	研修実施責任者
ナイトウ タカユキ 内藤 尊行	あおもり協立病院	副院長	研修実施責任者
ドウミキ キミヨシ 百成 公美	生協さくら病院	院長	研修実施責任者
タムラ シゲル 田村 茂	川久保病院	院長	研修実施責任者
オダギリ コウキ 小田桐 弘毅	国立病院機構弘前総合医療センター ター	院長	研修実施責任者

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 3回）

病院施設番号：030772 臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合 健生病院

氏名		所属	役職	備考
カマダ	タカアツ	弘前脳卒中リハビリテーションセンター	院長	研修実施責任者
鎌田	孝篤			
ハラ	トオル	健生黒石診療所	所長	研修実施責任者
原	徹			
イシモリ	シンジ	津軽医院	院長	研修実施責任者
石森	伸二			
ツガワ	ノブヒコ	健生五所川原診療所	所長	研修実施責任者
津川	信彦			
サワオカ	タカユキ	中部クリニック	所長	研修実施責任者
澤岡	孝幸			
サカト	ケイイチロウ	八戸生協診療所	所長	研修実施責任者
坂戸	慶一郎			
イイダ	トシノリ	健生クリニック	所長	研修実施責任者
飯田	寿徳			
イソジマ	トシヒト	協立クリニック	所長	研修実施責任者
磯島	寿人			
ウキタ	アキヒコ	さわやかクリニック	所長	研修実施責任者
浮田	昭彦			
イズミヤ	マサヒト	健生病院	事務局長	
泉谷	雅人			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合健生病院													
病院施設番号： 030772													
区分	内科	救急部門	外科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科		精神科	病院で定めた必修 科目の診療科		その他の研修を行 う診療科		合計
						又は	産科		婦人科	整形外科	緩和ケア科		
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	2766	(14796)	1255		404	()	317 (210)	194	473	314	336	6059 (15006)	
年間新外来患者数		7071	462		4268		203	779	0	521		13304	
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	()	46.6 (290)	44.6 (241)	()	58.7 (290)	()	16.3 (241)	44.8 (241)	0	58.4 (241)	()	()	
平均在院日数	15.1		9.6		3.7		5.3	6.4	43.1	24.4	13.4		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	15 (10)	6 (4)	6 (4)	2 (2)	4 (3)	3 (2)	()	()	3 (2)	3 (3)	2 (1)	44 (31)	

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の繰越患者数を加えた数とする。提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とする。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合は、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10.の救急医療の実績の前年度の件数及び14.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2023 年度分)		臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合厚生病院 病院施設番号： 030772												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
津軽保健生活協同組合 厚生病院	内科	6	5	5	4	4	4	3	4	4	4	5	5	2
	救急部門		1	1	1	2		1	2	2	1	3	3	2
	外科			1	1	1	2	2	1				1	1
	小児科	1					1	1	1	1				
	産婦人科	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	3	1
	整形外科		1		1	2	1				1	1	1	1
	リハビリテーショ ン科							1	1					

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力量型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力量型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力量型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場面に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2024 年度分)		臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合健生病院												
		病院施設番号： 030772												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
津軽保健生活協同組合 健生病院	内科	3	3	2	5	3	2	3	3	4	4	2		
	救急部門				1	1	2	2	1	2	1	1		
	外科		1	1	1				1	1	1	1	1	1
	小児科			1	2	1				1	1		1	2
	産婦人科										1			
	整形外科	1	1						1	1			1	1
	リハビリテーション科	2	2	1	1						1	1	1	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、届出年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力量臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力量臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力量臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすると）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場面に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2025 年度分)		臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合健生病院												
		病院施設番号： 030772												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
津軽保健生活協同組合 健生病院	内科	2	2	2	2	2								
	救急部門				1	1	1	1	1	1	1	1		
	外科				1	1	1	1	1	1				
	小児科			1	1		1						1	1
	産婦人科		1	1	1	1		1	1	1	1			
	整形外科						1		1	1	1	1		
	リハビリテーション科											1	1	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力量型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力量型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力量型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場面に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2026 年度分)		臨床研修病院の名称： 津軽保健生活協同組合健生病院												
		病院施設番号： 030772												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
津軽保健生活協同組合 健生病院	内科	2	2	2	2	2		22	2	2	2	2		
	救急部門				1	1	1	1	1	1	1	1		
	外科				1	1	1	1	1	1				
	小児科			1	1		1						1	1
	産婦人科		1	1	1	1			1	1	1	1		
	整形外科						1	1	1	1	1	1		
	リハビリテーション科											1	1	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場限りに限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030772601

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合 健生病院

臨床研修病院群番号：0307726

臨床研修病院群名：津軽保健生活協同組合健生病院基幹型病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	津軽保健生活協同組合 健生病院初期医師臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	1). 外来研修を重視したステップアップ研修。医療面接、身体診察の現場を確認するなど、習熟度を確認し段階的に研修を行う。 2). 救急外来は専属の指導医のもと研修。研修到達点の確認のため、救急 OSCE を実施。 3). 整形外科的疾患が増加している中、整形外科研修を外来領域として必修科に位置づけている。 4). 地域保健・医療の分野は診療所で研修を行い、地域づくりの視点を養う。 5). 月 1 回、医療生協組合員で構成される「班会」等に講師として参加。地域での予防活動の実践を学び、また、地域の人々の交流を通じ、地域の医療ニーズを知る機会と位置づけている。				
3. 臨床研修の目標の概要	プライマリヘルスケアを担い得るすべての臨床医に必要な基本的知識、技術、態度、また良好な医師－患者関係を構築するためのコミュニケーション能力を修得し、チーム医療のリーダーとして成長できる。医療を患者・地域住民との「共同の営み」としてとらえ、疾病を生活や労働との関係でとらえることができる。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 研修後そのまま専門研修可能				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030772	健生病院	38 週	2.5 週
		030812	あおもり協立病院		
		096412	川久保病院		
		032024	健生クリニック		
		126826	協立クリニック		
	救急部門	030772	健生病院	8 週	
	地域医療	032017	健生五所川原診療所	6 週	一般外来 2 週 在宅診療 2 週
		032018	健生黒石診療所		
		032019	津軽医院		
		032021	中部クリニック		

		032022	八戸生協診療所		
		126827	さわやかクリニック		
	外科	030772	健生病院	6週	2週
	小児科	030772	健生病院	6週	2週
		096412	川久保病院		
	産婦人科	030772	健生病院	5週	
	精神科	030811	藤代健生病院	5週	
		070023	生協さくら病院		
	一般外来			週	
病院で 定めた 必修 科目	整形外科	030772	健生病院	6週	1.5週
	リハビリテー ション科	030772	健生病院	4週	0週
		096412	川久保病院		
				週	
選択 科目	HCU	030772	健生病院	20週	0週
	眼科	096412	川久保病院		
	麻酔科	030772	健生病院		
		030037	国立病院機構弘前総合 医療センター		
	耳鼻咽喉科	030037	国立病院機構弘前総合 医療センター		
	泌尿器科	030037	国立病院機構弘前総合 医療センター		
内科	070033	弘前脳卒中・リハビリテ ーションセンター			

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門
の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約〇〇回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・〇〇週※但し、4週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・〇〇科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

※救急部門は12週とし、8週をローテーションとして割り振り、残り4週は救急当直研修として充当する。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号： 030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合 健生病院

臨床研修病院群番号： 0307726

臨床研修病院群名：津軽保健生活協同組合健生病院基幹型病院群

6. 研修スケジュール（一年次・二年次・いずれかに○）

プログラム番号：030772601

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。* 1

(No. 1)

病院又は施設の名 (病院施設番号)	研修分野 * 2	1 4週	5 8週	9 12週	11 16週	17 20週	21 24週	25 28週	29 32週	33 36週	37 40週	41 44週	45 48週	49 52週
健生病院 (030772)	内科	5 3 3 3	3 2 2 3	2 3 2 3	1 1 1 1	2 2 2 1	2 2 2 2	2 3 3 3	1 3 3 3	4 4 4 4	4 4 4 4	3 5 5 5	5 5 5 4	1 1 1 1
	救急部 門(ER)	1 1 1 1	1 2 2 2	2 2 2 1		2 2 2 2	1 1					1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2
	小児科	1 1												
	外科				1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1				1 1 1 1	1 1 1 1
	産婦人科	1 1 2 1	1 2 1 1	1 2 1 1	1 1 1 1	1 1 2 1	1 1 1 1	2 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1	
	整形外科		1 1 1 1		1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1					1 1 1 1	1 1 1 1
	リハビリテ ーション科							1 1 1 1	1 1 1 1				1 1 1 1	1 1 1 1
あおもり協立病院 (030812)	内科			1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1			1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2	1 1 1 1
川久保病院 (096412)	内科									1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1		

- * 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
内科	長谷 良志男	健生病院	名誉院長	43	○	日本外科専門医、日本消化器内視鏡専門医、民医連 関東甲信越医師臨床研修センター主催第18回臨床研 修指導医講習会	030772601	4
内科	加藤 直樹	健生病院	医長	39	○	第2回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指 導医ワークショップ	030772601	4
内科	竹内 一仁	健生病院	院長	32	○	日本プライマリ・ケア連合学会認定医・研修指導 医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、第2回臨 床研修指導医セミナー修了	030772601	3、4
内科	千葉 大輔	健生病院	副院長兼 診療部長	23	○	日本内科学会認定医、肝臓病学会肝臓専門医、ピロ リ菌感染症認定医、消化器内視鏡学会専門医、総合 内科専門医、第7回東北ブロック医師臨床研修指導医 ワークショップ修了	030772601	4
内科	阿部 慎一	健生病院	科長補佐	20	○	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、日本循 環器学会専門医	030772601	
内科	石田 晋吾	健生病院	医師部長 兼医長	20	○	日本内科学会認定医、総合内科専門医、日本プライ マリ・ケア学会認定医・指導医、H・pylori感染症認 定医、日本消化器内視鏡学会専門医、専門胃瘻造設 者・管理者、第15回青森県医師臨床研修対策協議会 医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
内科	岡野 奈穂子	健生病院	科長	16	○	日本内科学会認定内科医、第18回青森県医師臨床研 修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修 了	030772601	4
内科	相樂 繁樹	健生病院	医長	19	×	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医	030772601	

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等
病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	有明 千鶴	健生病院	医長	11	○	認定内科医、日本カプセル内視鏡学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、第28回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	030772601	4
内科	宮原 圭佑	健生病院	科長	16	○	日本内科学会認定内科医、日本プライマリ・ケア学会家庭医専門医、第18回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了、日本プライマリケア連合学会家庭医療指導医	030772601	4
救急科	太田 正文	健生病院	科長	24	○	日本救急医学会専門医、第5回臨床研修指導医のためのEBM講習会修	030772601	4
救急科	中澤 愛	健生病院	医長	13	○	日本救急医学会専門医、第28回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	030772601	4
救急科	鳥谷部 陽一郎	健生病院	医長	23	○	日本救急医学会専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、特別管理産業廃棄物管理責任者、認定内科医、認知症介助士、第1回坂総合病院臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
麻酔科	辻本 功弘	健生病院	医師	38	○	麻酔科標榜医、第2回臨床研修指導医セミナー修了	030772601	4
麻酔科	岩島 未奈	健生病院	科長	12	○	日本麻酔科学会認定医・専門医、麻酔科標榜医、第25回特定非営利活動法人民協協議会臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
小児科	田代 実	健生病院	医師	33	○	I C D、日本小児科学会専門医、第2回臨床研修指導医セミナー修了	030772601	4
小児科	加村 梓	健生病院	科長	22	○	日本小児科学会専門医、第15回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
小児科	高橋 夏生	健生病院	医長	10	○	小児科専門医、PALSプロバイダー、ALSOプロバイダー、民医連関東甲信越医師臨床研修センター第23回臨床研修指導講習会修了	030772601	4
外科	伊藤 真弘	健生病院	医師	38	○	日本外科学会専門医、民医連関東甲信越医師臨床研修センター主催第18回臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
外科	佐藤 衆一	健生病院	副院長	27	○	日本外科学会専門医、日本外科学会認定医、日本人治療認定医機構がん治療認定医、検診マンモグラフィー読影認定医、医師臨床研修指導医セミナー修了、日本がん治療認定医機構癌治療暫定教育医、日本外科学会指導医	030772601	4
外科	原 隆志	健生病院	医長	41	×	日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、消化器がん外科治療認定医、ICD、マンモグラフィー読影認定医	030772601	
外科	笹田 大敬	健生病院	副院長	32	○	日本外科学会専門医・技術認定、JATECインストラクター、第13回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
外科	境 剛志	健生病院	医局長兼 科長	23	○	検診マンモグラフィー読影認定医、日本外科学会専門医、地域医療臨床研修センター第8回臨床研修セミナー修了、日本内視鏡外科技術認定医、消化器病専門医	030772601	4
外科	兼田 杏理	健生病院	科長補佐	15	○	日本外科学会外科専門医、第24回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修ワークショップ修了	030772601	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
整形外科	木村 宗一郎	健生病院	科長	22	○	日本整形外科学会専門医、第9回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了、令和元年プログラム責任者養成講習会修了	030772601	1、4
整形外科	那須 智彦	健生病院	医長	14	○	日本整形外科専門医、第9回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
整形外科	三浦 和知	健生病院	医長	30	○	日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会、日本肩関節学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、東北整形災害外科学会、第9回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
産婦人科	橋本 吏可子	健生病院	科長	30	○	日本産婦人科学会専門医、母体保護法指定医、東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
リハビリテーション科	森永 伊昭	健生病院	医師	43	○	ICD、日本整形外科学会専門医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、第1回坂総合病院臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
リハビリテーション科	宮本 誠一	健生病院	医長	54	×	日本脳神経外科学会専門医	030772601	
リハビリテーション科	白戸 香奈子	健生病院	医長	14	○	第22回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
精神科	高 僖峻	健生病院	科長	35	○	日本精神神経学会精神科専門医、精神保健指定医、認定施設指導医、第1回臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
精神科	小鹿 瞳子	健生病院	科長補佐	15	○	精神保健指定医、精神神経学会精神科専門医、第20回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等
病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
								1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号：030037 臨床研修病院の名称：国立病院機構弘前総合医療センター

担当 分野	氏 名	所 属	役 職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○無：×	資格等	プログラム 番号	備 考
脳神経外科	大熊 洋揮	国立病院機構弘前総合医療センター	病院長	42	○	日本脳神経外科学会専門医・日本脳卒中学会脳卒中専門医・日本脳卒中の 外科学会技術指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医・日本認知症学会専 門医・日本脳卒中学会脳卒中指導医・第2回弘前大学医学部附属病院卒後 臨床研修教育ワークショップ修了	3	1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
整形外科	中村 吉秀	国立病院機構弘前総合医療センター	統括診療部長	37	○	日本リウマチ学会リウマチ専門医・日本整形外科学会専門医・日本リハビ リテーション医学会認定臨床医・第18回青森県医師臨床研修対策協議会 医師臨床研修指導医ワークショップ修了	4	1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
消化器・血液 内科	石 黒 陽	国立病院機構弘前総合医療センター	臨床研究部長	35	○	日本内科学会認定専門医・日本消化器病学会指導医・日本消化器内視鏡学 会指導医・医師・日本医師会認定産業医・第7回青森県医師臨床研修対策 協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・消化器病専門医・平成 25年度プログラム責任者養成講習会修了	1 4	1 4
循環器 内科	加 藤 武	国立病院機構弘前総合医療センター	循環器内科部長	32	○	日本循環器学会専門医・日本内科学会総合内科専門医・日本医師会認定産 業医・第12回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワーク ショップ修了	4	4
循環器 内科	木村 嘉宏	国立病院機構弘前総合医療センター	循環器内科医師	14	○	日本循環器学会循環器専門医・日本心臓血管インテグレーション学会 定医・日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士・ 第33回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修 了		
循環器 内科	反 町 悠也	国立病院機構弘前総合医療センター	循環器内科医師	9		日本内科学会内科専門医・むつ総合病院緩和ケア研修会修了		

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
糖尿病・内分 泌内科	松本 敦史	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	糖尿病・内 分泌内科医 師	23	○	日本内科学会認定内科医・日本内科学会総合内科専門医・日本臓器学会認定指導医・日本糖尿病学会研修指導医・日本糖尿病学会専門医・第13回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・むつ総合病院緩和ケア研修会終了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
糖尿病・内分 泌内科	村上 洋	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	糖尿病・内 分泌内科医 師	17	○	日本糖尿病学会研修指導医・日本糖尿病学会専門医・日本内科学会総合内科専門医・第26回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4
呼吸器科	中川 英之	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	呼吸器内科 部長	35	○	日本内科学会認定医・日本呼吸器学会専門医・日本気管支学会認定・日本呼吸器内視鏡学会・細胞診専門医・第11回青森県医師臨床研修対策協議会臨床研修指導医ワークショップ修了・細胞診指導医	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4
呼吸器科	山本 勝丸	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	呼吸器科内 科医長	31	○	日本内科学会認定医・日本呼吸器学会専門医・指導医・気管支鏡専門医・アレルギー学会専門医・平成27年度国立病院機構臨床研修指導医養成講習会修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4
呼吸器科	田中 佳人	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	呼吸器科内 科医長	19	○	日本内科学会認定内科医・日本がん治療認定機構がん治療認定医・日本内視鏡学会気管支鏡専門医・日本がん治療認定機構がん治療認定医・日本内科学会認定内科医・第20回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4
呼吸器科	千葉 俊介	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	呼吸器内科 医師	4	×	青森県立中央病院緩和ケア研修会修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	
呼吸器外科	對馬 敬夫	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	呼吸器外科 部長	41	○	呼吸器外科専門医・日本外科学会外科専門医・日本外科学会認定医・日本消化器外科学会認定医・日本胸部外科学会認定医・日本外科学会指導医・第1回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・平成20年度第13回共用試験医学系OSCE評価者認定講習会終了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4
呼吸器外科	畑 中 亮	国立病院機 構弘前総合 医療セン ター	呼吸器外科 医長	33	○	呼吸器外科専門医・日本外科学会外科専門医・第2回弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修教育ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
消化器・血液 内科	松木 明彦	国立病院機 構弘前総合 医療セーン	消化器・血 液内科医長	32	○	日本医師会認定産業医・平成26年度臨床研修指導医養成講習会	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
消化器・血液 内科	間山 恒	国立病院機 構弘前総合 医療セーン	消化器・血 液内科医長	26	○	日本内科学会総合内科専門医・日本内科学会認定内科医・日本血液学会血液専門医・第9回青森県医師臨床対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	4
消化器・血液 内科	澤谷 学	国立病院機 構弘前総合 医療セーン ター	消化器・血 液内科医長	25	○	日本内科学会認定内科医・日本消化器病学会認定消化器病専門医・日本消化器内視鏡学会専門医・日本消化器学会胃腸科専門医・日本がん治療認定医・日本消化器がん検診学会認定医・日本消化器病学会認定指導医・日本消化器内視鏡学会認定指導医・日本消化管学会胃腸科認定指導医・青森県緩和ケア研修会終了・第11回青森県医師臨床対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	4
消化器・血液 内科	太田 健	国立病院機 構弘前総合 医療セーン ター	消化器・血 液内科医師	21	○	日本内科学会認定内科医・日本内科学会総合内科専門医・日本血液学会認定血液専門医・第13回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・青森県緩和ケア研修会修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	
消化器・血液 内科	相原 智之	国立病院機 構弘前総合 医療セーン	消化器・血 液内科医師	22	○	日本消化器病学会消化器病専門医・日本消化管学会胃腸科認定医・日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・日本内科学会認定内科医・第11回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	4
消化器・血液 内科	五十嵐 高 徳	国立病院機 構弘前総合 医療セーン	消化器・血 液内科医師	20	○	第20回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	4
消化器・血液 内科	佐竹 美和	国立病院機 構弘前総合 医療セーン	消化器・血 液内科医師	14	○	日本内科学会認定内科医・日本内科学会総合内科専門医・日本消化器病学会認定消化器病専門医・日本消化器内視鏡学会専門医・青森県緩和ケア研修会修了・平成29年度臨床研修指導医講習会修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	
消化器・血液 内科	樋口 直樹	国立病院機 構弘前総合 医療セーン ター	消化器・血 液内科医師	9	○	日本内科学会内科専門医・第33回青森県医師臨床対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
消化器・血液 内科	飛内 優多	国立病院機構弘前総合医療センター	消化器・血液内科医師	4	×	青森県立中央病院緩和ケア研修会修了		1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
脳神経内科	清野 祐輔	国立病院機構弘前総合医療センター	脳神経内科 医長	22	○	日本認知症学会指導医・日本認知症学会専門医・日本内科学会総合内科専門医・日本神経学会神経内科専門医・日本神経学会指導医・日本内科学会認定内科医・第11回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
消化器外科	柴田 滋	国立病院機構弘前総合医療センター	消化器外科 部長	33	○	日本外科学会専門医制度外科専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医・日本消化器外科学会消化器外科専門医・第3回弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修教育ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
消化器外科	赤坂 治枝	国立病院機構弘前総合医療センター	消化器外科 医師	21	○	日本外科学会外科専門医・青森県緩和ケア研修会修了・第14回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・日本食道学会食道科認定医・日本内視鏡外科学会技術認定	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
消化器外科	堤 伸二	国立病院機構弘前総合医療センター	消化器外科 医師	20	○	第18回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・第18回青森県医師臨床研修指導医ワークショップ修了・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・日本消化器外科学会専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医・日本外科学会外科専門医・第18回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
消化器外科	須藤 亜希子	国立病院機構弘前総合医療センター	消化器外科 医師	14	○	日本外科学会外科専門医・日本消化器外科学会消化器外科専門医・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・第18回秋田県臨床研修協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
消化器外科	小笠原 宏一	国立病院機構弘前総合医療センター	消化器外科 医師	10	○	日本外科学会外科専門医・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・日本消化器外科学会消化器外科専門医・第30回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
消化器外科	佐藤 直樹	国立病院機構弘前総合医療センター	消化器外科 医師	3	×	青森県立中央病院緩和ケア研修会修了		

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
乳腺外科	鈴木 貴弘	国立病院機構弘前総合医療センター	乳腺外科医師	11	○	日本外科学会外科専門医・日本乳癌学会乳腺専門医・秋田県単体型緩和ケア研修会修了・第30回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床	1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
麻酔科	吉田 仁	国立病院機構弘前総合医療センター	麻酔科部長	33	○	麻酔科指導医・専門医・第3回東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ修了・臨床修練指導医	国立病院機構弘前総合医療センター臨床	4
麻酔科	村岡 正敏	国立病院機構弘前総合医療センター	麻酔科医長	39	○	日本麻酔科学会麻酔科指導医・専門医・第1回弘前大学医学部附属病院臨床教育ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床	4
麻酔科	小笠原 拳斗	国立病院機構弘前総合医療センター	麻酔科医師	5	×	十和田市立中央病院緩和ケア研修会修了		
産婦人科	田中 幹二	国立病院機構弘前総合医療センター	産婦人科部長	35	○	日本産科婦人科学会認定周産期専門医（母体・胎児）・日本周産期・新生児医学会認定周産期指導医（母体・胎児）・日本胎児心臓病学会胎児心エコー認定医・青森県緩和ケア研修会修了・第1回弘前大学医学部産婦人科臨床研修ワークショップ修了・弘前大学産婦人科臨床研修会修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床 研修プログラム	4
産婦人科	横山 美奈子	国立病院機構弘前総合医療センター	産婦人科医師	13	○	日本産科婦人科学会産婦人科専門医・日本産婦人科学会認定産婦人科専門医・日本周産期・新生児医学会認定周産期専門医（母体・胎児）・青森県緩和ケア研修会修了・第30回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修会修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床	4
産婦人科	小玉 都萌	国立病院機構弘前総合医療センター	産婦人科医師	10		日本産科婦人科学会産婦人科専門医・青森県緩和ケア研修会修了		
産婦人科	對馬 立人	国立病院機構弘前総合医療センター	産婦人科医師	8	×	日本専門医機構日本産科婦人科学会産婦人科専門医・青森県緩和ケア研修会修了・日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース修了・「JOGa_器質性月経困難症」に対する適正なホルモン療法等に係る研		
産婦人科	國井 基思	国立病院機構弘前総合医療センター	産婦人科医師	5	×			
小児科	杉本 和彦	国立病院機構弘前総合医療センター	小児科部長	40	○	日本小児科学会認定専門医・日本腎臓学会認定専門医・第2回弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修教育ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床 研修プログラム	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
小児科	佐藤 工	国立病院機構 弘前総合 医療セン	小児科医長	34	○	小児科専門医・小児循環器専門医・第6回青森県医師臨床研修対策協議会 医師臨床研修指導ワークショップ修了・令和2年度プログラム責任者養成 講習会修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
小児科	敦賀 和志	国立病院機構 弘前総合 医療セン	小児科医長	28	○	日本専門医機構小児科専門医・日本腎臓学会認定指導医・日本腎臓学会腎 臓専門医・第8回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導ワー クショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	4
小児科	佐藤 啓	国立病院機構 弘前総合 医療セン	小児科医師	27	○	第4回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導ワークショップ 終了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	4
小児科	岡本 剛	国立病院機構 弘前総合 医療セン	小児科医師	12	×	国立病院機構専門医制度における専修医（Ⅰ）の主診研修（小児科初期 研修及び専門医研修コース）、平成25年度良質な医師を育てる研修「神 経・筋（神経内科）基本診療スキルアップ研修修了、平成26年度良質な 医師を育てる研修「小児疾患に関する研修会」修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	
小児科	相馬 香奈	国立病院機構 弘前総合 医療セン	小児科医師	8	×		国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	
小児科	奥 瀬 諒	国立病院機構 弘前総合 医療セン	小児科医師	8	×	青森県緩和ケア研修会修了・日本専門医機構日本小児科学会小児科専門医		
小児科	木 元 建	国立病院機構 弘前総合 医療セン	小児科医師	4	×			
放射線科	藤田 環	国立病院機構 弘前総合 医療セン	放射線科医 師	13	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本医学放射線学会研修指導者、 日本核医学会PET核医学認定医・第32回青森県医師臨床研修対策協議 会医師臨床研修指導ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラム	
放射線科	辰尾 小百 合	国立病院機構 弘前総合 医療セン	放射線科医 師	10	×	日本専門医機構認定放射線科専門医・日本核医学会PET核医学認定医・ 青森県緩和ケア研修会修了		
放射線科	井村 瑞葵	国立病院機構 弘前総合 医療セン	放射線科医 師	3	×	十和田市立中央病院緩和ケア研修会修了		

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等
病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
整形外科	竹内 和成	国立病院機構弘前総合医療センター	整形外科医 長	32	○	日本整形外科学会脊椎骨髄病医・日本脊椎骨髄病学会脊椎骨髄外科指導医・日本脊椎骨髄病学会脊椎骨髄外科専門医・秋田県身体障害者福祉法第15条1項の規定により診断を行う医師・秋田県難病指定医・令和3年度義肢装具等適合判定医師研修会修了・大館市立総合病院緩和ケア研修会修了・日本医師会生涯教育講座大館、北秋田地区不安と不眠の学術講演会受講・秋田県臨床研修協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・小児運動疾患指導管理医師セミナー受講	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
整形外科	荒木 亮	国立病院機構弘前総合医療センター	整形外科医 師	10	○	日本整形外科学会整形外科専門医・青森県立中央病院緩和ケア研修会修了・第30回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
整形外科	亀井 敬太	国立病院機構弘前総合医療センター	整形外科医 師	11	○	日本整形外科学会整形外科専門医・第160回臨床研修指導医講習会終了・青森県緩和ケア研修会修了・R4年度義肢装具等適合判定医師研修会(82回)修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
整形外科	長沖 隼英	国立病院機構弘前総合医療センター	整形外科医 師	10		日本整形外科学会整形外科専門医		
整形外科	鎌田 陽光	国立病院機構弘前総合医療センター	整形外科医 師	5	×	大館市立総合病院緩和ケア研修会2020修了・R5年度義肢装具等適合判定医師研修会(第83回)修了		
整形外科	倉 令奈	国立病院機構弘前総合医療センター	整形外科医 師	4	×	八戸緩和ケア研修会修了		
形成外科	横井 克憲	国立病院機構弘前総合医療センター	形成外科医 長	35	○	日本形成外科学会形成外科専門医・日本形成外科学会小児形成外科分野指導医・日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医・日本創傷外科学会専門医・日本熱傷学会熱傷専門医・第5回弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修教育ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
脳神経外科	嶋村 則人	国立病院機構弘前総合医療センター	脳神経外科 部長	30	○	青森県小児慢性特定疾病指定医・日本脳神経血管内治療学会指導医・青森県難病指定医・日本脳卒中の外科学会技術指導医・第3回弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修教育ワークショップ受講	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
脳神経外科	小笠原 ゆかり	国立病院機構弘前総合医療センター	脳神経外科医長	21	○	日本脳神経外科専門医・日本脳卒中予後認定脳卒中専門医・むつ総合病院緩和ケア研修会修了・第23回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了・むつ難病指定・脳梗塞心-PA矯正術中継講習会受講	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
眼科	詩苗 順義	国立病院機構弘前総合医療センター	眼科医長	32	○	日本眼科学会専門医・身障者福祉法専門医・平成17年度臨床研修医指導者講習会修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
皮膚科	中島 康爾	国立病院機構弘前総合医療センター	皮膚科医長	28	○	日本がん治療認定医・日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・皮膚科児童福祉法指定医・皮膚科難病指定医・第9回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
皮膚科	是川 あ美	国立病院機構弘前総合医療センター	皮膚科医長	21	○	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・日本医師会認定産業医・第24回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
泌尿器科	岩村 大経	国立病院機構弘前総合医療センター	泌尿器科医師	15	○	日本がん治療認定医機関がん治療認定医・日本透析医学会透析専門医・日本内視鏡外科学会技術認定医・日本泌尿器科学会泌尿器科指導医・日本泌尿器科学会泌尿器専門医・泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医・第23回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4
泌尿器科	三浦 日花里	国立病院機構弘前総合医療センター	泌尿器科医師	5	×	青森県中央病院緩和ケア研修会修了		
泌尿器科	大溝 奏佑	国立病院機構弘前総合医療センター	泌尿器科医師	3	×			
耳鼻咽喉科	西澤 尚徳	国立病院機構弘前総合医療センター	耳鼻咽喉科医長	19	○	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了・第29回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構弘前総合医療センター臨床研修プログラム	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
耳鼻咽喉科	藤田 友晴	国立病院機構 構弘前総合 医療セン ター	耳鼻咽喉科 医師	7	×	青森県立中央病院緩和ケア研修会修了		1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
病理診断科	八木橋 法登	国立病院機構 構弘前総合 医療セン ター	病理診断科 長	37	○	日本臨床細胞学会細胞診専門医・日本病理学会認定病理専門医・第6回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4 (病理指導者)
臨床検査科	櫻庭 弘康	国立病院機構 構弘前総合 医療セン ター	臨床検査科 長	30	○	日本温泉水療医学会温泉水療認定医・日本外科学会がん治療認定医・抗化学療法認定医・日本梅毒学会認定医・温泉療法医・外科周術期感染管理認定医・第19回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4
病理診断科	諸橋 聡子	国立病院機構 構弘前総合 医療セン ター	病理診断科 医師	23	○	死体解剖資格認定・日本病理学会病理専門医・日本臨床細胞学会細胞診専門医・第13回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4
救急科	入江 仁	国立病院機構 構弘前総合 医療セン ター	救急科医師	20	○	日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医・日本救急医学会救急科専門医・日本医師会第8回指導医のための教育ワークショップ修了	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	4 (救急指導者)
歯科口腔外科	三村 真祐	国立病院機構 構弘前総合 医療セン ター	歯科口腔外 科医師	26	×	日本口腔外科学会認定口腔外科認定医	国立病院機構 弘前総合医療 センター臨床 研修プログラ ム	

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030811

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合藤代健生病院

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等
病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
精神科	坂本 隆	藤代 健生病院	名誉院長	46年	×	精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医	030772601	
精神科	吉田 宏美	藤代 健生病院	副院長	33年	○	第4回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
精神科	関谷 修	藤代 健生病院	院長	31年	○	精神保健指定医、第3回臨床研修指導医講習会修了	030772601	3、4
精神科	千石 利広	藤代 健生病院	副院長	18年	○	精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、第17回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等
病院施設番号：030812

臨床研修病院の名称：あおもり協立病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考
内科	横田 祐介	あおもり 協立病院	理事長	41	×	日本内科学会総合内科専門医・認定内科医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医、日本医師会認定産業医、ICD、日本病院総合診療医学学会認定医	030772601	4
内科	遠藤 研	あおもり 協立病院	内科医長	34	○	日本医師会認定産業医、第3回東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	内藤 貴之	あおもり 協立病院	副院長	24	○	日本内科学会総合内科専門医・認定内科医、日本循環器学会専門医、日本インターベンション治療学会認定医、心血管カテーテル治療専門医、日本腎臓リハビリテーション学会指導士、日本脈管学会脈管専門医、医師臨床研修指導セミナー	030772601	3、4
内科	田中 忍	あおもり 協立病院	内科科長	20	×	日本内科学会総合内科専門医・認知内科医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医、日本消化器内施行学会専門医	030772601	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：070023

臨床研修病院の名称：青森保健生活協同組合さくら病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
精神科	百成 公美	生協 さくら 病院	院長	41年	○	精神科専門医、指導医	030772601	4
精神科	西脇 巽	生協 さくら 病院	名誉院長	56年	×	精神保健指定医	030772601	4
精神科	小山 智教	生協 さくら 病院	副院長	18年	○	精神科専門医、指導医、指定医、産業医	030772601	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等
 病院施設番号：030772

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
------	----	----	----	----------------	--------------------------------	-----	-------------	--

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等
 病院施設番号：096412

臨床研修病院の名称：川久保病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	田村 茂	川久保 病院	院長	30	○	日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会認定消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	030772401	3、4
内科	伊藤 俊一	川久保 病院	副院長 在宅診療 科長	30	○	日本プライマリケア連合学会プライマリア認定医、総合診療域特任指導医		4
内科	伊藤 雅天	川久保 病院	内科長	28	×			
内科	加藤 幸	川久保 病院		29	×			
内科	田林 侑香	川久保 病院		12	×			
小児科	蒔苗 剛	川久保 病院	小児科長	22	○	日本小児科学会認定専門医		4
眼科	及川 拓	川久保 病院	医局長兼 眼科長	24	○	日本眼科学会専門医		4

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：津軽保健生活協同組合 健生病院（青森県）

研修プログラムの名称 津軽保健生活協同組合健生病院初期医師臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
健生病院	030772	基幹型	青森県	700時間	月4回 宿日直許可あり（宿直週2回/日直月2回）	700時間	なし
弘前総合医療センター	030037	協力型	青森県	約560時間	4～5回	385時間	なし
弘前協栄中リハビリテーションセンター	070033	協力型	青森県	100時間	臨床研修医の当直・日直なし	0時間	なし
藤代健生病院	030811	協力型	青森県	なし	臨床研修医の当直・日直なし宿日直許可あり	0時間	なし
あおもり協立病院	030812	協力型	青森県	なし	臨床研修医の当直・日直なし 臨床研修医の当直・日直なし研修医より申入れがあれば実施する	0時間	なし
川久保病院	096412	協力型	岩手県	20時間	臨床研修医の当直・日直なし宿日直許可あり	0時間	なし
生協さくら病院	070023	協力型	青森県	なし	臨床研修医の当直・日直なし宿日直許可あり	0時間	なし
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

- ※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の実績を記入すること。
研修プログラム変更・新設の場合は、届出年度の届出の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。
- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に記入すること。
- ※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。
- ※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。
- ※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。